

北大阪健康医療都市の取組について

(1) 健都イノベーションパークにおけるアライアンス棟の

整備・事業者の募集について

資料 2－1

(2) 国循－市民病院医療連携（項目別全体スケジュール）

資料 2－2

(3) 北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづ

くり会議（地域医療に関するこれまでの議論等）

資料 2－3

健都イノベーションパークにおけるアライアンス棟整備・運営 事業者の募集について

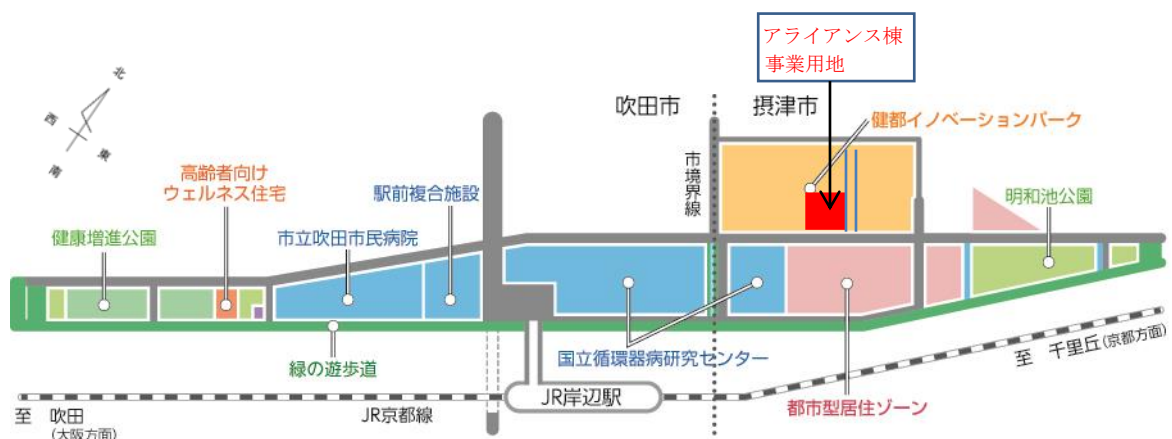
1 目的

北大阪健康医療都市（愛称：「健都」（けんと））の健都イノベーションパークは、オープンイノベーションの実現や健康関連産業等との連携を創出・促進する拠点を形成するため、国立循環器病研究センターと連携する企業等（研究機関、大学の産学官連携窓口等）向けの進出用地として位置付けており、「イノベーションパーク（仮称）利用基本計画」の利用に係る基本方針及び国立循環器病研究センターを核とした医療クラスター推進協議会でまとめられた「これまでの検討の中間整理」を踏まえ、「健康と医療」をキーワードに先端的な研究開発を行う企業等の研究施設を集積させることにより、国立循環器病研究センターを中心とする国際級の複合医療産業拠点（医療クラスター）の形成に向けた取組を進めています。

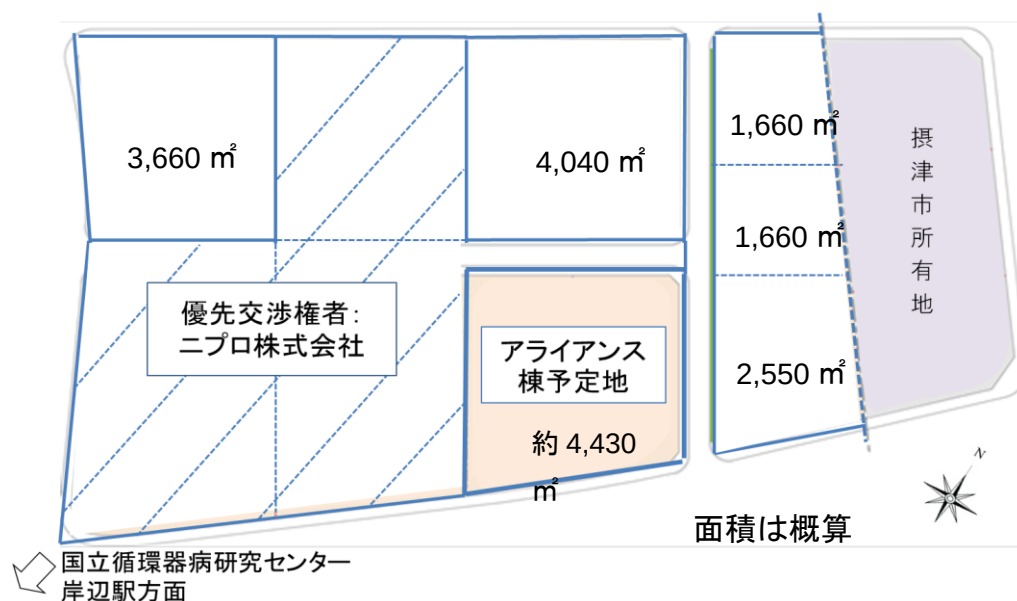
本事業は、健都における医療クラスターの形成に向け、更なる広がりや厚みを持たせるよう、健都への移転が決定した国立健康・栄養研究所（以下「健栄研」という。）のほか、企業や大学の産学連携の窓口等様々な機関が入居可能な、ハード・ソフトの両面において複合的な機能を有する建物（以下「アライアンス棟」という。）の整備・運営を行う事業者を募集するものです。

2 場所

(1)所在地 摂津市千里丘新町 200 番地(健都イノベーションパーク内の 1 画地)



(2) 健都イノベーションパーク詳細図



3. 公募概要

(1) 公募方法

公募型プロポーザル方式により、優先交渉権者（１者）及び次点者（１者）を決定します。

(2) 契約方法

事業用定期借地権設定契約

(3) 提案を求める施設等

- ・「健康・医療のまちづくり」の推進に向けた事業活動を行う企業等（健栄研、貸オフィス又はラボ、クラスター交流施設等）が入居する施設。
- ・健都イノベーションパークの利便性向上や価値創出に資することを目的としたソフト事業（産学官連携に資する事業や情報発信等の各種施策）の提案

(4) スケジュール

本年１０月上旬まで提案書を受け付け、選定会議での評価を経た後、アライアンス棟を整備・運営するにふさわしい、最も優れた提案をした事業者を１１月中旬に決定する予定です。

募集開始	平成30年5月25日（金）
参加表明書等の提出期限	平成30年8月31日（金）
提案書の提出期限	平成30年10月上旬
優先交渉権者等の決定	平成30年11月中旬

国循-市民病院医療連携（項目別全体スケジュール）

資料2-2

		平成29年度	平成30年度				平成31年度			
		4/四	1/四	2/四	3/四	4/四	1/四	2/四	3/四	4/四
工事・イベント	国立循環器病研究センター	2018年3月～12月 電カルシステム構築				竣工	移転作業	開院		
	市立吹田市民病院			竣工	移転作業・開院					
	クリニックモール				開業					
	式典関係				市民病院 内覧会・式典		国循 内覧会	式典		
関連協議	国循・市民病院 医療連携連絡会議 （移転前）	●2/7	年に3～4回 必要に応じて医師会参加							
	連携協議会（移転後）							定期開催 当面		
	消防救急隊との協議 （吹田、摂津）		主に市民病院			市民病院＋国循		調整		
	クリニックモール との連携				市民病院	関係者協議		調整		
国循・市民病院の連携	1. 診療科整理	おおむね 終了								
	2. 診療科の 連携役割分担	概要について は合意形成済	詳細をつめる							
	3. 救急対応協力	原則について は済み	具体化				調整			
	4. 医療機器 連携相互利用	総論	各論（国循機器選定作業）				運用開始			
	5. 各種研修・研究		準備・予行・調整				本格化			

北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議（地域医療に関するこれまでの意見等）

資料2-3

	今後の課題等に向けた意見	当時の回答
（ア）両病院（国循・市民病院）が隣接することによる連携・機能分担	○ 救急対応について、 <u>両病院の救急担当者がコミュニケーションを取れるような仕組みは考えているのか。救急隊との調整も重要。</u> 【第13回・吹田市医師会】	→ 両病院の救急連携は要であり、 <u>消防との調整も重要</u> であると認識。【第13回・国循】
	○ 吹田市民病院に市外の患者が増えて吹田市民が受診しにくくなるような状況が発生しないか。どのような対策が考えられるか。【第2回・摂津市薬剤師会】	→ 立地が摂津市との境目であるうえに、国循と医療連携もあり、 <u>患者を区別することはできない。</u> 【第2回・市民病院】
	○ 新市民病院整備の基本方針は以下のとおり。【第2回・市民病院】 ・ <u>救急医療の充実</u> （救急専用病床の設置、救急診療科の設置、災害時等における行政や地域の医療機関との連携・協力による医療提供） ・ <u>高齢化に伴う疾患への対応とリハビリテーションの充実</u> （高齢化に伴い増加する疾患への対応、急性期のリハビリ及び回復期のリハビリを充実） ・ <u>地域の医療機関や介護事業等との連携推進</u> ・ 政策医療と健全経営の両立 ・ マグネットホスピタルの実現 （研修制度の充実や自己研鑽の支援を充実するなど医療スタッフの働きやすい環境整備）	
	○ 市民病院で国循の精神科の合併症の患者を診ることはできるか。【第2回・吹田保健所】	→ 現時点では常勤医師確保の目途が立たないので <u>精神科・神経科の対応は難しい。</u> 【第2回・市民病院】

【前回会議での主な意見（一部抜粋）】

○ 両病院の連携については、国循でできないことを市民病院が補完するということに尽きる。具体的な連携について、医師会や行政にも見える形で示してもらいたい。【吹田保健所】

北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議（地域医療に関するこれまでの意見等）

	今後の課題等に向けた意見	当時の回答
（ウイ） 両病院が吹田操車場跡地に よる移転することにより、 診療に所及する近隣病 院との連携・機能分担	○ 国循が移転する吹田操車場跡地は吹田市と摂津市の境にあるため、これから摂津市とは新たな関係を築いていきたい。【第1回・国循】	・摂津市医師会内で連携登録医制度への参加を推奨し、循環器疾患の医療連携を進め、診断・治療の向上に努めたい。また、地域医療の向上に向けた様々な取組に協力をお願いしたい。【第3回・摂津市医師会】 ・循環器病に関して、口腔ケアや歯周病との関係が指摘されており、こうした観点からの研究を進めていただくとともに、病院内における口腔ケアの取組が充実されることを期待。【第1回、第3回・摂津市歯科医師会】 ・国循との連携（研修等への協力、共同研究の実施、薬局窓口を活用した調査への協力）を期待。【第3回・第13回摂津市薬剤師会】
	【医療モールのコンセプトに関する意見】 ○ 医療モールに一般診療所は不要。脳ドッグや禁煙外来など国循や市民病院の機能を補完するものなら理解する。また、病児病後児保育はしてほしい。【第5回・吹田市医師会】 ○ 医療モールも健診センターも、事業者募集の際に「国循や市民病院と連携する」と提案をした。この点をしっかり守ってほしい。【第8回・吹田市】	2街区で実施される病児・病後児保育に協力していただける小児科医が内定。【第11回・13回、オレンジ総研・アイン】
	【医療モールの診療科に関する意見】 ○ 両病院の医療機能を補完する医療モールとなるべき。精神科を入れ、両病院としっかり連携してほしい。【第8回・吹田保健所】 ○ 一般歯科もマスト。両病院との連携を検討するように願う。【吹田市】	整形外科、消化器内科、心療内科、歯科、小児科、眼科、皮膚科が内定。【第11回、12回、13回・オレンジ総研・アイン】
	○ 病診連携について、今までよりもさらに密度の濃い連携方式の検討が必要。かかりつけ医の重要性の周知が必要。【第2回・吹田市医師会】	

【前回会議での主な意見（一部抜粋）】

- 国循が吹田市の南部にある健都へ移転すると、吹田市北部の脳卒中患者への対応が必要となるため、対応について阪大と協議をしている。【国循】
- 移転先の吹田市南部と隣接する茨木市、摂津市に対する脳卒中のインパクトは強いと思っているため、事前の協議が必要であると思っている。【国循】
- 循環器や糖尿病も含めて口腔ケアの重要性がクローズアップされていることもあり、そういう点からも病診連携をしていきたい。【吹田市歯科医師会】

北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議(地域医療に関するこれまでの意見等)

	今後の課題等に向けた意見	当時の回答
(カ) 吹田市(豊能医療圏)、摂津市(三島医療圏)の市境という立地	○ 地域連携パスについて、豊能と三島の両医療圏だけでも共通化などはあるか。【第3回・吹田市】	・大阪府が関わっているものは、脳卒中と糖尿病と心筋梗塞とがん。 ・がんは当初から府内統一。 ・糖尿病については、豊能圏域では糖尿病手帳も使うということで統一されつつある。 ・心筋梗塞については、豊能医療圏では国循を中心にワーキング等で推進を進めているところ。 ・摂津市、茨木市にも豊能圏域のパスを一部使っていただいている。 ・三島医療圏では高槻の医大を中心に作られたパスが別にまわっている。 ・脳卒中について、豊能医療圏と三島医療圏で違うものが動いているので、今の段階ではまだ統一することは難しい。【吹田保健所】
	○ 移転後の病診連携はどう考えるか。【第7回・吹田保健所】	脳卒中や心筋梗塞の地域連携パスについては、豊能だけではなく、三島の共通化も考え、検討していきたい。【国循】
	○ 摂津市は三島医療圏に所属するため、救急を含め、制度上は高槻市や茨木市と協力することになる。ただ、実際の距離では吹田市が近いため、患者の動きとしては、済生会吹田や市民病院に行くことになると思う。そのため、患者の動きに合わせて吹田市内の病院と協力関係を結んでいく必要があると思っている。【第13回・摂津市医師会】	
	○ 搬送時間によって救命率が全然違う循環器については、国循と何らかの取り決めをして、搬送するという形を取りたい。【第13回・摂津市医師会】	国循は二次医療圏よりも広域で患者をカバーすることで、地域医療構想の遂行に役立つと思っているため、摂津市の急性期の循環器患者については、対応できる範囲でしていく。【国循】

【前回会議での主な意見(一部抜粋)】

- 心筋梗塞連携パスについて、複雑で大変であった手帳方式は改め、心不全を中心とした簡素なものになるように見直しを行う。【吹田保健所】
- 吹田市の救急隊は現場で国循の医師とホットラインで話をしている。摂津市消防もこういった連携を作っていく必要がある。【吹田市医師会】
- 医療圏が異なると、近くであってもなかなか会う機会がないため、そういう機会を作っていただきたい。【摂津市歯科医師会】
- 国循、市民病院の医師に講演をしてもらい、吹田・摂津の三師会が誰でも参加できるような交流の機会を年に何回か開催できればと思う。【摂津市薬剤師会】

第14回 北大阪健康医療都市を中心とした健康・医療のまちづくり会議（平成30年3月28日開催）における地域医療に関する意見（一部抜粋）

（ア）両病院（国循・市民病院）が隣接することによる連携

- 両病院の連携については、国循でできないことを市民病院が補完するということに尽きる。具体的な連携について、医師会や行政にも見える形で示してもらいたい。【吹田保健所】

（イ）両病院が移転することによる地域の診療所及び薬局との連携・機能分担

（ウ）両病院が吹田操車場跡地に移転することによる近隣病院との連携・機能分担

- 国循が吹田市の南部にある健都へ移転すると、吹田市北部の脳卒中患者への対応が必要となるため、対応について阪大と協議をしている。【国循】
- 移転先の吹田市南部と隣接する茨木市、摂津市に対する脳卒中のインパクトは強いと思っているため、事前の協議が必要であると思っている。【国循】
- 循環器や糖尿病も含めて口腔ケアの重要性がクローズアップされていることもあり、そういう点からも病診連携をしていきたい。【吹田市歯科医師会】

（カ）吹田市（豊能医療圏）、摂津市（三島医療圏）の市境という立地

- 心筋梗塞連携パスについて、複雑で大変であった手帳方式は改め、心不全を中心とした簡素なものになるように見直しを行う。【吹田保健所】
- 吹田市の救急隊は現場で国循の医師とホットラインで話をしている。摂津市消防もこういった連携を作っていく必要がある。【吹田市医師会】
- 医療圏が異なると、近くであってもなかなか会う機会がないため、そういう機会を作っていただきたい。【摂津市歯科医師会】
- 国循、市民病院の医師に講演をしてもらい、吹田・摂津の三師会が誰でも参加できるような交流の機会を年に何回か開催できればと思う。【摂津市薬剤師会】